

4月18日(水) 本年度第38回(通算2630回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル
『新入会員卓話』 担当/プログラム委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

☆メイクアップ

4月12日	足立 功一君	(第3回 学務学友委員会)
4月15日	足立 功一君	(第5分区IM)

☆出席報告【会員総数64名 免除9名 出席計算に用いた会員数64名】

本日の出席者 41名 本日の出席率 64%

☆ニコニコ献金 (今年度累計 690,000円)

- ・新入会員卓話、宜しくお願いします
 - ・新入会員の皆様方、卓話無理を言ってすみません
 - ・新入会員の皆様、頑張ってください
 - ・初めての「4つのテスト」です。宜しくお願いします
 - ・先週、初めての入会記念日でした
 - ・3年経ちました。これからも宜しくお願いします
 - ・結婚記念日、大友委員長に教えてもらいました
 - ・お花ありがとうございました
 - ・もぐら会総会、皆様参加お願いします
 - ・もうすぐ春ですね
 - ・しばらくぶりです
- 能登信孝君、新妻繁市君
 田中和紀君
 小野寺英夫君、高橋 貢君
 横田國勝君
 吉田茂樹君
 岡田 拓君
 平澤利秀君
 本間明美さん
 平井昌弘君
 坂入信行君
 松田信明君
 穂積由蔵君

☆会長挨拶
 《能登会長》



皆さんこんにちは。4月の半ばになっても釧路はまだ寒い日々が続いております。

今日のプログラムは新入会員卓話になっております。転職の季節なので北クラブも3名の皆様が転職になり後任の人が入会されました。今期は10名の入会者がありますが退会者も多く会員は増えておりません。会員増強したいので紹介をよろしく願いいたします。

新会員の卓話は、会員の皆さんにどのような仕事をしているか、また自分を紹介する機会なのでPRしてください。中村君、毛利君、入会されたばかりですが金岩君よろしく願いいたします。

☆幹事報告
 《田中幹事》



- ①. 紋別港RCより、創立40周年記念式典のご案内が届いております。日時は平成24年6月2日(土)13時より、ホテルオホーツクパレス 祝賀会は16時より行われます。尚、記念講演としてRI第2800地区 パストガバナー、私達も非常に親しくさせて頂いている藤川享胤先生が講師で招かれています。
- ②. 来月5月14日(月)全日空ホテルにおいて12時30分より、西クラブに集団ミーティングを予定しております。来週にはメール、FAX等でご案内できると思いますので、多数の会員みなさんの参加をお願い致します。
- ③. 釧響協力会より、総会とミニコンサートのご案内が届いております。



毛利勇二君

釧路に着任し、3ヶ月が過ぎようとしています。この度、歴史と伝統のある「釧路北ロータリークラブ」に入会させていただき大変光栄に思っております。私どもの旅行業界は、平和産業とも言われ、全世界の平和と安全のもとに成立っている業界でもあります。

業界の分類としてはサービス業に属しており、ロータリークラブの活動・精神と似ている点が多々ある様に感じます。これから、会員の皆様と友好を深め様々な活動への積極的な参加を心掛けたいと思っております。

過日3月12日（月）に、JT Bは会社創立100周年を向かえ新たな1歩を踏み出しました。この節目の年に新たな地（釧路）で新たな業務にチャレンジできることを大変嬉しく思うと同時に身が引き締まる思いでもあります。お客様に信頼され様々な試練や境地を乗り越えて来た先輩社員の努力に対し敬意を表すと共に、長年ご支持をいただいたお客様皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。一口に100年と申しますが、お隣の韓国では5社、中国は5,000年の歴史と言えども1,000～2,000社とのことです。それぞれ企業存続体質は異なっておりますが、我国では20,000社以上あり古くは奈良時代から続いている企業もあります。これは、伝統と技術継承を重んじる国民性とも言えるでしょう。

さて、今後さらに維持発展させるために大切なことはどのようなことでしょうか？「揺るがない企業経営理念の遵守」と「変革に対応できる判断」は申し上げるまでもありませんが、やはり「新たな夢の創造」であると考えます。常に夢を持ち、その夢を実現させることが結果的に維持発展へとつながることでしょう。夢がある者は希望ある、希望がある者は目標はある、目標がある者は計画がある、計画がある者は行動がある、行動がある者は実績がある、実績がある者は反省がある、反省がある者は進歩があり、進歩のある者は又、新たな夢を持つ。このサイクルの考え方を各社員に伝え、実践するようお願いしております。これは、ボトムアップ（bottom up）を優先する企業の基本かもしれませんが、しかし、「安全」・「コンプライアンス」については、厳しいトップダウン（top down）で取り組んでいることも申し添えさせていただきます。

只今、JT Bは基幹の旅行業とは別に「地域交流ビジネス」と言う新たな分野（ビジネスモデル）にチャレンジを開始しており、全国の各地域において地域経済の発展に貢献することを目的としております。まだまだ、非力・微力ではありますが皆様のお役に立てます様に取り組みを強化したいと思っておりますので、ロータリークラブの皆様からも多大なるご指導を賜りたく存じます。今後とも何卒よろしく願い申し上げます。取り留めのない私事の内容で大変失礼致しました。有り難うございました。



金岩雅信君

前任の沼沢から、歴代の支店長の引継ぎ事項にロータリークラブに是非入会するようにと申し送りがありまして、入会させていただきました。郵便事業株式会社に勤務しておりまして、趣味が切手収集ということで、たまたま趣味と仕事がマッチングしました。小学校の頃から切手収集をしておりますが、なかなか整理が付いておりませんが、それは、退職後のお楽しみと言うことにしております。これから、宜しく願い致します。



中村 祐昭 君

見習い時代

この仕事を始めて、はたしてそれが自分に最も適した職業かどうかわかりませんでした。というのは家が料理屋だったので当時、選択の余地がなかったし必然と店を継ぐものだと思います。今思えばプロゴルファーやお医者さんになればよかったと思います。まだ見習い時はよく親父と喧嘩しましたし店もよく飛び出しました。

技術を習得するため

東京や京都で修行を積むことになった訳です。その後、私の基礎として役立っているのはこの伝統的な部分、結局いろいろ知識の豊かな人と知り合いその人の下ではたかせてもらえことは自分の財産となったわけです。そのころ以来努力を続けよう勉強して旨い料理を作ろうと考えるようになりました。もっとももっといろいろな人に旨い寿司を食べてもらいたいと・・・このごろ料理はそう考えると基礎の上に見直しと修正が必要でないのかと感じます。あるときホテルニュー京都で寿司部門を設立したいと、そのプロデュースをいただきました。32歳で寿司のイロハを当時ホテル料理長に教えたところ「君は面白いから（多分料理のことだと思います。）日航ジャカルタへ行きなさい」と言われたのが海外行くきっかけでした。料理人なってよかったと思った瞬間やはりお客様からお褒めの言葉をいただいたときです。今でも覚えておりますが200人分のコース料理を終えたとき会場みなさんから一斉に拍手が湧いたとき涙が出そうな勢いでした。料理の味もそうですがホスピタリーやロケーション、エンターテインメント、チームワークなどが成功の秘訣かもしれません。残念なことはいくらでもあります、渾身の出来の料理の出来栄えだと自分が思ったときにお客さまの評価がものすごく悪い時もあります。驕りたかぶるなよと料理の神様が怒っているのかもしれません。一般に料理人にとってまず労働時間からして大変ですからまずこの職業が好きでないと長続きしません。何よりも清潔、たとえば冷蔵庫1つ中を綺麗に出来ない店の料理が良い訳がありません。そして料理人としての組織性リーダーシップで人を動かせること、同じ生物（なまもの）、魚をいじってるほうが人を動かすことより楽かもしれません。来年から新入社員を取り入れホテルビジネスのプログラムを取り入れ、近い将来は若い人にどんどん海外で活躍をしてもらいたいと思います。最後にこの職業が私の天職だと感じております